



向台

9月号

平成28年9月1日

中野区立向台小学校

オリンピック選手の走り

校長 中村 明子

リオオリンピックの暑い夏も終わりました。時差の関係で、TVライブ視聴で寝不足が続いたのも、私ばかりでないかと思います。

2016年のオリンピックは、金12個、銀8個、銅21個と、プレッシャーに負けずにのびのびと実力を発揮できる日本人選手の強さに、日本中が歓声を上げました。特に、魂のバトンパスをつないだ男子4x100mリレーは、印象的でした。ファイナリストも9秒台もない日本チームが、米国に競り勝ち、世界で2着に入りました。山縣亮太、飯塚翔太、桐生祥秀、ケンブリッジ飛鳥選手の、強い信頼感で結ばれた4人の攻めのバトンワークは、世界を驚かせ、日本短距離に大きな一歩をもたらしました。

向台小学校では、9月10日(土)の学校公開日に、アテネオリンピックの4x400mリレー 伊藤 友広選手をお迎えします。4人で400mずつ走る1600mリレーで4位に入賞した選手です。アテネでは、4x100mリレーに、土江、末續、高平、朝原選手が出場し、同じく4位に入賞したことは記憶にあるかと思います。400mは、100mとは違い、中距離と間違われるほどの距離があり、医学的に「人間がスプリントで走りきれる限界の距離」とされています。しかし、同時に瞬発力を必要とする短距離走です。自己の限界に挑みながら、走力も精神力も鍛えた伊藤選手に、「かけっこ教室」をお願いします。全学年の児童が、オリンピック選手から走り方を教わります。どんなお話が伺えるのか、どんな指導が行われるのか楽しみです。保護者の皆様も、一緒に体験ください。

さらに、10月5日(水)には、元パラリンピック水泳競技の河合純一さんをお呼びしています。

さて、リオオリンピックの次は、いよいよ、2020年東京オリンピック・パラリンピックです。スポーツ、日本文化・国際理解、オリンピック・パラリンピック精神、環境の4つのテーマで学習を進め、4年後を目指します。子供たちは4年後、10歳から16歳になっています。未来のアスリートや、そればかりでなく、様々な得意分野で社会に貢献する人に育つのが、楽しみです。

9月の生活目標

気持ちのよい挨拶をしよう

・気持ちのよいあいさつをしよう ・正しい言葉づかいをしよう